

平成27年度 第1回 山梨県立美術館協議会 会議結果記録

日 時： 平成27年10月2日(金) 午後2時～3時40分

場 所： 県立美術館総合実習室

参加者：

委員 塩島明美、秋山弘、鶴田一杏、古屋知子、手塚義彦、金丸康信、笹本禮子、
矢島良夫、長谷川由希、齊藤文栄、秋山宏子

県教育委員会 深澤教育次長、田中学術文化財課長、古屋学術文化財課副主幹

県立美術館 白石館長、酒井副館長、向山学芸幹、大関総務課長、井澤学芸課長
名取総務担当主査、平林学芸員(普及担当リーダー)、中島普及担
当主査教育主事

指定管理者 山本SPSやまなし支配人、金原SPSやまなし副支配人

議事

- (1) 平成26年度事業報告等について
- (2) 平成27年度事業報告及び予定等について
- (3) その他

司会 酒井副館長

議事録

委嘱状交付

県教育委員会教育次長挨拶

副会長選任

- ・山梨県附属機関の設置に関する条例の規定に基づき、委員の互選により高野孫左
工門委員を副会長に決定

会長挨拶

館長挨拶

事務局職員紹介

議事(議長は規定により会長が務めた)

- ・事務局から会議資料により、議事(1)～(2)を説明

会長(議長)

ただいま、事務局から、議事の(1)(2)について説明がありました。質問、意見な

どありましたらお願いします。

A委員

2点質問です。特別展が4回ありますが、4人の学芸員が交替で企画を担当するのか、皆さんと一緒にやるのか、1年間とかかけて準備するのか、ピカソ展などはとてもおもしろいのですが、テーマはどのように決めるのか、状況を教えてください。

もう1点は、指定管理についてですが、指定管理者は委託料を県から受けて、その中で運営しているのか、例えば入館料収入が指定管理者の収入になっているのか、具体的な金額は結構ですから、収入支出の内容と、予算の中でどのように実施するイベントを決めているのか教えてください。

事務局

当館の展示は常設展と特別展があります。ピカソ展は特別展ですが、特別展の中には、学芸員が3年とか長期にわたり研究して企画する自主企画展があります。ただし美術館がおかれている財政的な状況はどこも大変厳しく、自主企画展だけで展示会を運営するのは無理がありますので、それを補う方法として、いくつかの美術館がお金を出し合って実施する巡回展を行っています。巡回展の場合は、企画会社というのがありまして、日本にはヨーロッパにまで名の通った有名な企画会社がいくつかありまして、そういうところは、よく外国に出かけて、情報を収集して日本のいくつかの美術館に売るための企画を研究しています。そういう企画を買うこともあれば、国内でもテレビ局や新聞社の事業部が企画したものは、外国の著名な美術館のコレクション展を企画することがあって、わたくしどもの美術館単独では絶対無理な企画を何とか他の美術館と共同で実施しています。限りある予算を有効に使っていますが、県内の報道機関に出資していただき、共催して実施することもあります。

今回のピカソ展は、企画会社が入り、当館を含め4館が共同で実施する巡回展となっています。

学芸員の関わり方についてですが、学芸員の数ほど特別展があるわけではありませんが、残りの学芸員は遊んでいるのではなく、一つの特別展には主担当と副担当と複数の学芸員を配し主担当をフォローしています。また、3年先の特別展のために研究するなど、準備を行っています。

指定管理者

2番目の質問にお答えします。私どもの収入は全て県からの委託料です。観覧料収入が多くなっても私どもの収入は変わりません。その中でいかに、やりくり出来るかが成果の見せ所です。例えば、県の職員にも協力をしてもらい光熱費を節約し、それを広報にまわすなどがあります。昨年までは光熱費が高騰し年間1億円もしましたが、

今年度は燃料費が下がったこともあり、多少余裕ができ、新しいイベントを企画したところ です。

B 委員

教育普及について質問です。博学連携が進み、高校生の入館が増えているということで、資料の 12 頁にも教育課程の来館状況が示されていますが、実際の所は、職場体験のように、いわば学校の仕事の関係で来館していることが多いと思います。本来は、美術鑑賞とか、高校生や児童が美術に触れる場として来館するのが望ましいと思います。昨年、高校生以下を無料としたのは教育現場としては大変ありがたく、敷居が低くなったと感じていますが、実際に来館者増につながったのか、教えてください。

教育現場の内実を話すと、少子化で学校の数も減って、美術の教師も減るなど、芸術教育が抜け落ちていく状況があります。体験活動もお金がかかるのですが、本校も文学館に行く授業をこれまで 10 年間やってきましたが、来年からそれは削られることになりました。生徒に無料だから美術館に行きなさいと言っても、アクセスの問題もあり、生徒だけで来館するのは難しい面があり、悩ましいところです。ですから無料化は大変ありがたいのですが、それで実際どのくらい変わったか気になります。

事務局

数字では表しにくいところですが、後期に高校から 3 件の入館の予定があります。高校生の無料化ということで、いままであまり来館のなかった、塩山高校などからの来館が増えています。遠隔地からの来館は交通の便など問題ありますが、なるべく高校生が興味を持って、また来たいと思われるような内容を工夫していきたいと考えています。また部活動対応として、美術部などにアートレクチャーといった取組もしています。

C 委員

開館以来の来館者数を見ますと、開館当時は年間 50 万人もいたのが、徐々に減少していて、これは他の美術館も同じかもしれませんが、そんな中でも金沢の 21 世紀美術館は非常に来館者が多いと聞いています。来館者が減少している原因がお分かりでしたら教えてください。

事務局

どこの美術館も同じだと思いますが、開館してしばらくの数字は特別だと思います。当館も最初の 10 年くらいは特別な時期であったのと、その当時は日本じゅうが美術ブームであったことも関係しています。また、例えばディズニーランドのような施設があまり無かったこともなどが原因と考えられます。

私が承知している中でも、公立美術館は、東京以外は皆右肩下がりで、その中で当館は特殊といえます。やはりミレーがあること、そして比較的東京に近いこと。プラスマイナス両面がありますが、東京から所蔵品を見に来る来館者が多いという特徴があります。私は以前に三重の美術館の館長をしていましたが、そこは地方美術館の中では優秀ですが、企画展には人が来るが、所蔵品を見に来る人はとても少ないという状況でした、これは他の地方の美術館も皆同じだと思います。先ほど金沢の21世紀美術館の話がありましたが、あそここのことは実はよく分かりません。確かに来館者は非常に多いのですが、すぐ近くに石川県立美術館があるのに、そちらは来館者があまり多くないのです。21世紀美術館は特殊であると我々は考えています。右肩下がりのなかでも当館は比較的健闘していると思います。

D委員

先ほどの説明で20～30歳台の来館者が少なく、そこが課題とのことでしたが、私が以前、美術館の前を通りかかったときに、家族連れの来館者とても多く、何でもかきと見ると、美術館のギャラリーで小中学校の教育美術祭の展示があったのです。こういう時は、親も子も関心があって沢山来館するわけです。このようなイベントとコラボすることも有効かと思いました。

外国人対応事業の説明がありましたが、外国人来館者はどのくらいいるのでしょうか。

指定管理者

ファミリーでの来館は美術展のみを目的としては非常に少ないです。小さなお子様をお連れのお母さんは遠慮します。そんな中で、今年は教育普及事業で小さなお子さんを対象としたイベントが充実していて、一回の参加者が150名にもなることがありました。多くの方が来館されると、展示場に足を伸ばそうという方も増えます。ですから何かきっかけがあることが重要で、そのような検討してまいりたいと考えています。ただし、こここのところ来館者からは、様々な注文がでていまして、ボランティアの解説がうるさいとか、子供を入場させるべきでないといった意見もあります。美術館は静かであるべきという意見が増える中で、子供さん来ていただくのが難しくなっていて、そんな中で、いかに子供さんが安心して観覧できるか、周囲に理解されるかが課題となっています。

外国人来館者の状況ですが、正式な調査はやっておりませんが、昨年、1ヶ月ほど目視による判断でカウントしたところ、全体の1%に満たないという結果でした。

D委員

ありがとうございました。実はうちの学校の近くに青楓美術館というのがありまして、

そのこの収蔵作品を模写する授業があります。そして模写した絵を美術館に飾っていただくのですが、そうすると、今までなかなか行かなかったことがない美術館でも行く機会が増えると言うことがあります。県立美術館でも以前に同じような事業があったように記憶していますが、今後もそのような取組をしたら効果的かなと思いました。

会長

議事(1)(2)について、他に意見等があるでしょうか。なければ、事務局からの説明・提案について承認としてよろしいでしょうか。

議事(1)(2)について、出席委員全員が承認。

会長

議事(3)の、その他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

ありません。

会長

委員の皆さんは、その他で何かありますか。

E委員

先ほど館長さんから、入場者のお話がありましたが、これは職員が努力しての結果の賜物だと思いますし、県民としてはありがたいことです。

その他のことでお尋ねします。美術館や博物館の施設は教育委員会の傘下ですが、甲府駅前に、こうした施設をPRする常設の掲示はありますか。無ければ絶対作るべきと思います。甲府駅を利用する人は、県外の人も多く、外国人もいるでしょうから有効かと思います。これは教育委員会には、はっきりと申し上げたいです。

今、マイナンバーが話題になっていますが、これが始まると、美術館の入館のシステムに何か影響があるでしょうか。

指定管理者に質問です。資料の17頁に、JR東海のアート&トレインに参加とありますが、JR東海以外でも同じような取組がありますか。

指定管理者

他にも取り組んでいます。一例をあげますと弊社のグループ企業ですが、サントリーの登美の丘ワイナリーと連携してスタンプラリーを実施しています。8月一ヶ月で約150名の方が、登美の丘からこちらにいらしてくださいました。その他、JR東

日本、山梨交通、山交百貨店などいろいろなところと連携を進めています。

E 委員

現在は、PRの時代なので、こういう連携はますます盛んにして、来館者を増やしてほしいと思います。

会長

駅の案内と、マイナンバーの件は、いかがでしょうか。

事務局

皆さんは、駅の近くの山交百貨店の北側の壁面に、「種をまく人」の大きな掲示があるのをご存じでしょうか。これはとても効果があるので、これからも同様に取組ができないか、また、外国人にも分かるような表示についても検討したいと思います。

マイナンバーについては、現在のところ、館の運営に直接関係があるか分からない状況です。今後よく研究することとさせていただきます。

C 委員

65歳以上の来館者は無料で、今は、免許証などを提示して確認していると思いますが、マイナンバーカードなども有効かと思います。

会長

その他に意見等はあるでしょうか。本日は貴重な意見をありがとうございました。今後も美術館がますます良くなるよう、私たちも協力していきたいと思います。では、これにて議事を終了します。